

翠ヶ丘野球部 保護者の皆様へ

監督 上原夏樹

グラウンドでたくさんの応援をいただき、また翠ヶ丘野球部の活動にご理解とご協力をいただき、お蔭様をもちまして無事に平成28年を終えることができます。

12月11日の駅伝大会を終え、今年の公式戦全日程を終了しました。今年は私のわがままで監督が途中不在となり、選手たち、コーチ陣及びチームスタッフには多大なるご迷惑をお掛けしたことを改めてお詫び申し上げます。

そんな中、春夏の大会で思うような結果が出せなかつたレギュラーチームですが、野球最後の公式戦の南区大会ではベスト8、駅伝大会ではブロック5位入賞と最後になって大きく成長してくれたと思います。選手たちはもちろんですが、保護者の皆様、役員及びコーチスタッフ含めた部全員の協力があつての成長であると感謝しております。

今回が第32回大会にちなんで、ゼッケンNo.132の翠ヶ丘野球部が選手宣誓を行いました。敦也キャプテンの堂々とした選手宣誓には今年のチームスローガンである「仲間を信じて」というフレーズが入っており、それをスタンドで聞いていたある5年生の野球ノートに「仲間を信じて」という言葉に感動したと書いてくれていました。

実際のレースは第1走者の勇大選手が冷静に後方からスタートしていき、外周に入つてトップ集団に追いつくと2位で第2走者の秀太選手へ。秀太選手もトップ集団にくらいつき、ここも2位でのタスキリレー。第3走者の奏音選手はこの流れに乗り、まさかのトップ通過！第4走者の蒼場選手も抜かれはしましたが最後まで諦めない走りで、4位でアンカーの敦也選手へ。強豪ひしめく中、粘って粘って5位で感動のゴール。5人が頑張ってくれたのと同時に、最後までメンバー争いをしていた広大選手も献身的にチームの貢献してくれ、礼夢選手も膝を痛めていたのに代表選手たちと一緒にアップをしてくれました。そして選手たちが戦っている間は、レギュラーチームの選手がコース各所でくれた大きな応援が選手たちの力になったことは間違ひありません。今回の結果は選手たちの努力はもちろん、チーム全体でもぎ取ったものだと確信しております。

負けはしましたが、南区大会の3試合とこの駅伝大会での戦う姿勢は、新チームになっても引き継いで行かなければならぬと強く思っております。

先日のクリスマス会で選手全員に伝えましたが、年が明け練習2日目の反省会から整列順を5年生が一番後ろになるように変更致します。また翌3日目の練習から指導の主体も5年生以下コーチにバトンタッチします。残された期間の中で6年生と6年生コーチは新チームが来年大きく成長できるように全力でサポートしていきます。

2017年も引き続きご理解とご協力をよろしくお願ひ致します。